

(別紙2)

アサガオ被害調査の方法

- 1) 植え付けた5株のうち、顕著に葉に可視被害が発現した3株を選び、ひと株ずつ調査します。なお、余力のある方は、5株全てで調査していただければ幸いです。
- 2) まず、成長の状況を知る目安として、だいたいの草丈(地面から主茎の先端までの長さ)を測定します(下図参照)。
- 3) 次に、主茎に付いた葉(主茎葉)について、葉被害面積率(葉の面積の何%程度に可視被害が発現しているか)を目測します。このとき、主茎の先端からみて、完全に展開した葉を第1葉とし、この葉から地面に向かって、順次、各主茎葉の葉被害面積率を測定していきます(下図参照)。なお、葉被害面積率の測定例を、「別紙3」に示しますので、参考にしてください。

- 4) 調査結果を、「アサガオ被害調査記録表」(別紙4)に記入します。記入時には、以下のことに注意してください。

- ・調査地点の住所は番地まで正確にご記入ください。
- ・葉位は、主茎の先端からみて第1葉、第2葉、というようになります。
- ・備考欄には、育成期間中に、アサガオに関して気がついたことがあればお書きください。

